

資料3-1 共通実験施設

資料3-1-1 電子計算機施設

海洋研究所では、1964年に計算機室を設置し、共用計算機やネットワークの整備、強化を行ってきた。特に、海洋に関する数値シミュレーションやデータ解析を行うため、大型の計算機システムが海洋科学研究用電子計算機システムとして設置された。同システムは、4年または5年の借入による調達品であり、時期による違いはあるが、おおむね並列計算サーバ、ディスクシステム、テープドライブ、利用者用端末、A0判カラープロッター、カラープリンター等で構成されている。1992年度以降では、1994年3月、1998年3月、2002年3月、2007年3月、2012年3月に更新が行われ、いずれも入札の結果、IBMのシステムが導入された。

計算機室は、計算機本体やネットワーク機器が設置されるサーバ室と、利用者が使用する端末や周辺機器が設置される端末室に分けられている。

〈中野キャンパス〉

B棟2階（300m²）1964年度設置。

〈柏キャンパス〉

大気海洋棟2階（138m²）2010年度設置。

〈総合研究棟〉

2階（122m²）2004年度設置。

気候システム系の計算機設備として、20℃恒温の2部屋に、サーバなどの共通計算機10台、各研究室のワークステーション13台、および合計約1ペタバイトのRAID装置が設置されている。気候モデルや衛星データのアーカイブ、解析などに活用されており、専門の常勤職員がメンテナンスや電力管理を行っている。